市のお知らせ

平成24年度歴史まちづくりシンポジウム

城下町白河における歴史まちづくり

～足元に残る資源の再発見とその活用策を探る～

●日　時　2月9日㈯／午後1時15分～4時15分
●会　場　市立図書館多目的ホール（道場小路）
●入場料　無料　※事前にお申し込みください。

小峰城跡、南湖公園、旧城下町のまち並み。それらを舞台に繰り広げられる提灯まつりやだるま市。

白河は、歴史的資源と先人から受け継いできた祭礼や伝統行事が数多く残されている歴史の薫り漂うまちです。これらの歴史的資源が評価され、平成23年2月23日には、歴史まちづくり法に基づく「白河市歴史まちづくり計画」が国の認定を受けました。そして現在、計画に基づき歴史と文化を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

東日本大震災では、小峰城跡の石垣や蔵などの歴史的建造物に大きな被害を受けましたが、歴史と文化の土台となる都市の骨格や資源までもが失われたわけではありません。

この機会に、改めて足元に残る資源を見つめ直し、これらに磨きをかけ、「ふるさと白河」に自信と誇りを持つ契機とするためシンポジウムを開催します。

多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

●申し込み・問い合わせ先
本庁舎まちづくり推進課☎㉒1111
内2747／FAX㉔1844

■第1部　話題提供

▷全国における歴史まちづくりの動き
国土交通省都市局公園緑地・景観課景観・歴史文化環境整備室課長補佐
森口俊宏氏

▷震災復興まちづくりと文化財保護
文化庁文化財部記念物課長　矢野和彦氏

■第2部　基調講演

▷現代に生きる歴史まちづくりと地域プラットフォームの協働～白河市本町・北裏地区の住民まちづくりを通して～
早稲田大学大学院創造理工学研究科教授　有賀隆氏
（白河市歴史的風致維持向上計画協議会会長）

■第3部　パネルディスカッション

▷城下町白河における歴史まちづくり～足元に残る資源の再発見とその活用策を探る～
●コーディネーター／有賀隆氏
●パネリスト／長岡造形大学研究員　金出ミチル氏、㈱楽市白河代表取締役　鈴木雅文氏、NPO法人しらかわ建築サポートセンター（歴史的風致維持向上支援法人）副理事長　鈴木節夫氏、鈴木和夫白河市長

話題のシリーズ

■未来のたまご

Interview　各部長に聴く！「市の主要事業」

「表郷庁舎」の主要事業　No.9

地域の声を本庁にしっかりと伝えることが第一です。

表郷庁舎
振興事務所長　Wachi Chuichi 和知忠一

■組織図
表郷庁舎
- 総務課　6人
- 市民福祉課　10人
- 事業課　7人
- 教育振興課　5人

市の主要事業を紹介する「未来のたまご」。新たな事業（卵）を孵化させ、大きく空に羽ばたかせようとする市政の動きを、各部長のインタビューを通して皆さんにお伝えします。

――今年度、表郷地域で行われている主な事業はどんなものですか。

表郷地域ではまず、表郷幼稚園建設事業が行われています。表郷庁舎の東側で建設工事が進められ、今年の夏休み明けから園児たちは新しい園舎で学ぶことができます。

道路整備事業では、表郷地域から東地域に通じる幹線道路として、梁森中寺線の用地取得が進められています。老朽化に伴う工事では犬神線舗装工事、生活道路では、梁森地内の榎内水口線舗装工事などが行われています。

次に、市史編さん事業です。表郷地域の貴重な歴史と伝統文化を後世に伝えるため、表郷村史「通史編」を作成中で、3月に完成する予定です。これを読めば表郷の総合的な歴史が分かりますので、ぜひご覧になってください。また、継続的な事業では「ふるさと白河表郷まつり」があります。毎年9月の下旬に開催していますので一度お越しください。

――地域の様々な事業を継続・成功させるポイントはどんなことですか。

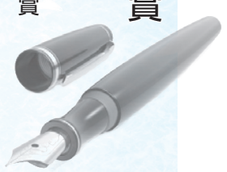
きめ細かに各町内に足を運び、要望や課題を知ることが重要です。そして、本庁に地域の声をしっかりと伝えることを第一に心掛け、連携して地域の発展に努めていきます。

宗祇白河紀行連句賞受賞者が決定

1、708句から3作品が優秀賞

12月8日、鹿嶋神社（大）で「第6回宗祇白河紀行連句賞」の表彰式が行われました。この賞は、室町時代の著名な連歌師である宗祇が白河を訪れた史実にちなみ、宗祇の句や本市の観光資源、伝統文化などを発句とした連句（三つ物）を募集し表彰するものです。今年は全国から1、708句もの作品が寄せられました。

宮城県連句協会会長・連句協会常任理事の狩野康子先生および和光大学表現学部教授副学長の深沢眞二先生の審査で、入賞の57作品が決定、その中から3作品が優秀賞に選ばれました。



▼一般の部　大賞

義経へ聖ヶ岩の紅葉散る
汝がくっさめの餅する谿
非力ゆえ重き一票投ずらん

福永千晴さん（東京都）

▼高校生の部　優秀賞（連作）

野分せし花のたもとやしのぶずり
梨の実かじる一人の少女
真夜中に銀河鉄道乗り込んで

高橋映美さん
大塚麻耶さん
（茨城県立結城第二高校）

▼中学生以下の部　優秀賞

野分せし花のたもとやしのぶずり
秋を知らせる海鳴りの音
もう二度と戻れない夏受験生

斎藤愛美さん（白二中）

問本庁舎商工観光課　内2215